

にほんごがくしゅうかい 日本語学習会のご案内

にちじ がつ にち すい
日時：1月15日(水)
19:30~21:00

Would you like to learn
Japanese with us?
Please feel free to come!

ばしよ くらよしじんけんぶんか
場所：倉吉市人権文化センター

ないよう にちじょうせいかつ ひつよう にほんご まな
内容：日常生活に必要な日本語を学ぶ

ぼしゅう
ボランティアを募集しています!



倉吉市人権文化センターでは、外国にルーツがある方が安心して日常生活を送ることが出来るように日本語学習会を開催しています。

日本語学習会では受講者の皆さんと一緒に日本語を学び、指導していただくボランティアの方を募集します。詳しくは倉吉市人権文化センターまでお問い合わせください。

申込・問合せ… 倉吉市人権文化センター (☎0858-22-4768)

◎生活の中でお困りのことはありませんか?



一人で抱え込まずに相談してみませんか?
お困りのことがあればお気軽にお越しください。
電話対応もいたします。
※ご相談いただいた内容は秘密厳守いたします。
安心してご相談ください

◎差別落書きや人権侵害に気づいたら!すぐにお知らせください!

差別発言などの人権侵害や差別落書きは許されない行為です。発見された場合は
倉吉市人権政策課または最寄りの人権文化センターまでご連絡ください。

連絡先：倉吉市人権政策課 ☎(0858) 22-8130
倉吉市人権文化センター ☎(0858) 22-4768

ますな

倉吉市人権文化センターだより

2025年1月1日 発行 No.168 号

発行所：倉吉市人権文化センター

住所：倉吉市鍛冶町1丁目2971-2

電話/FAX：0858-22-4768

メールアドレス：jinkenbunka@ncn-k.net



謹賀新年

日頃より倉吉市人権文化センターの事業及び運営について、ご協力とご支援をいただき、心より感謝申し上げます。

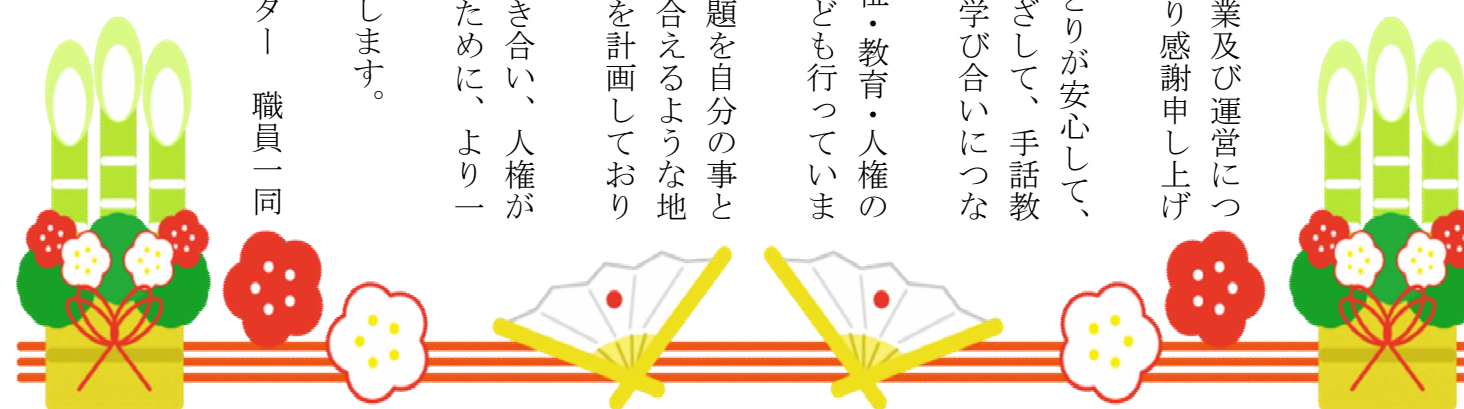
倉吉市人権文化センターでは、一人ひとりが安心して、いきいきと暮らすことが出来る社会をめざして、手話教室、日本語学習会、子ども育成事業など学び合いにつながる事業を行っています。

また、人権問題の啓発活動、生活・福祉・教育・人権の相談、人権に関するDVDの貸し出しなども行っています。お気軽にご相談ください。

本年も部落問題をはじめとした人権問題を自分の事として考え、誰もが困ったときに声を掛け合えるような地域社会の実現のために、さまざまな事業を計画しております。

今後とも、人権課題の解決に真摯に向き合い、人権が尊重され認め合える社会を実現していくために、より一層精進してまいります。
本年も職員一同、よろしくお願いいたします。

倉吉市人権文化センター 職員一同



倉吉市人権文化センターからのお知らせ

年末年始のため、次のとおり人権文化センターを休館します。

12月28日(土) ~ 1月5日(日) まで

1月6日(月) から通常通りの開館となります。(9:00~17:30)



ライフ・イン・ハーモニー推進月間 2025 年 1 月 1 日～31 日

☆ ライフ・イン・ハーモニー推進月間とは

皆さんは、どれくらいの数の外国にルーツのある方が日本に住んでいるかご存じですか？

全国でおよそ 359 万人（2024 年 6 月末時点）、倉吉市には約 400 人（2024 年 11 月末時点）の外国にルーツのある方が日本で生活しています。

これからの社会では、そこに住む全ての人々がお互いの国籍や文化などの違いを超え、それぞれが持つ多様性を理解・尊重して共生していくことが大切です。

そこで、国は 2024 年から毎年 1 月を「ライフ・イン・ハーモニー推進月間」と決めました。期間中は、共生社会実現に向けた取組を全国的に展開していくこととしています。

☆ 外国にルーツのある方との 共生社会のビジョン

2022 年 6 月、日本政府は「外国人との共生社会の実現に向けたロードマップ」を決定しました。このロードマップでは、日本が目指す外国にルーツのある方との共生社会について、3 つのビジョンが示されています。



1 安心・安全な社会

外国にルーツのある方と一緒に作る社会
みんなが、安全で安心して生活できる社会

2 多様性に富んだ 活力ある社会

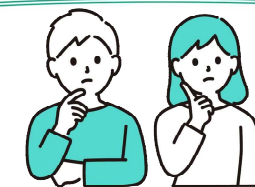
国や文化の違う人みんなが社会に参加し、能力をしっかりと出せる、元気な社会。

3 個人の尊厳と人権を尊重した社会

みんなが尊厳と人権を大切にする、差別と偏見のない社会

1 月 26 日（日）毎年 1 月最終日曜日

世界ハンセン病の日



ハンセン病の主な症状としては、初期は皮疹と呼ばれる皮ふの病変と、痛さや熱さの感覚が失われる知覚麻痺です。治療せずに病気が進行すると、手足や顔などに運動障害や変形があらわれます。

1941 年、アメリカでハンセン病に効果のある薬が登場し、現在では治療法が確立しています。

このように、ハンセン病は薬による治療だけで治すことができる病気にも関わらず、現在でも間違った知識や偏見から、元ハンセン病患者に対する差別が起こっています。

- ・家族と一緒に暮らすことができない
- ・実名を名乗ることができない
- ・結婚しても子どもを産むことが許されない
- ・病気が完治しても療養所から出て暮らすことができない
- ・亡くなっても故郷のお墓に埋葬してもらえない

間違った知識や偏見・差別によって、こうした生活をハンセン病患者の方は長い間強いられてきました。

ハンセン病患者の方々は国の誤った強制隔離政策や周囲からの差別、偏見によって長い間苦しめられました。

現在は、今まで誤って伝えられてきた病気、そして実態が正しく伝えられてきていますが、まだ根強く差別や偏見が残っている状態です。

私たちにできることは、ハンセン病について正しい知識を持って理解することです。これが差別や偏見をなくす第一歩です。この機会にハンセン病を正しく知り、家庭などで話し合い更に理解を深めてみませんか？



第 48 回倉吉市部落解放文化祭



テーマ：人間解放の文化を創造しよう

地域の解放の文化を掘り起こし、人間解放への営みに直接触れ、その価値を見直すことで差別に気づき、部落問題の解決と人権の確立を自らの課題としてとらえ、差別をなくする力を培い、「お互いを認め合い、安心して暮らせる人権尊重のまちづくりをめざす」ことをねらいとして実施します。

作品展示の部

日時：令和 7 年 1 月 24 日～26 日

9：00～16：00

会場：エスパック未来中心アトリウム

内容：認定こども園、保育園、学校、児童館、社会福祉施設、国立療養所邑久光明園等による作品展示

ポテ茶サービス

部落解放同盟倉吉市協議会

エスパック未来中心小ホール入口付近

1 月 25 日（土）11：00～

なくなり次第終了



発表・講演の部

日時：令和 7 年 1 月 25 日（土）

13：00～15：00

会場：エスパック未来中心小ホール

内容：①太鼓演奏

（倉吉農業高等学校「倉農太鼓部」）

②講演会「原爆と部落とキリシタン」

NPO 法人長崎人権研究所副理事長

阿南重幸さん

③人権作文朗読（倉吉東中学校生徒）

主 催：第 48 回倉吉市部落解放文化祭実行委員会

事務局：倉吉市市民生活部人権政策課

電 話：(0858) 22-8130